

平成30年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2018

平成30年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2018

目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 コレクション展	08
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	15
3 地域交流事業	18
■ 教育普及事業	
1 体験学習、博物館実習等	19
■ ミュージアム施策事業	20
■ ボランティア事業	22
■ 広報活動	25
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	28
2 貸出一覧	30
3 修復一覧	32
■ 入館者数	33
■ 活動記録	37
■ 名簿	40



展示事業

闇に刻む光
アジアの木版画運動 1930s-2010s



会 期 2018年11月23日(金・祝)~2019年1月20日(日)
 会 場 福岡アジア美術館 企画ギャラリー
 主 催 福岡アジア美術館、読売新聞西部本社、美術館連絡協議会
 共 催 アーツ前橋
 協 賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日立製作所
 助 成 公益財団法人吉野石膏美術振興財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
 開 催 日 数 46日間
 観 覧 者 数 5,401人

本展は、木版画の持つ民衆の声を代弁する手段としての「メディア性」に着目しながら、アジア近現代史の見直しを試みた展覧会。従来の美術史では取り上げてこられなかった様々な展覧会史や出版物、個人や集団の交流を探ることで、アジアの近代化のなかで木版画が果たした役割を再考する機会とし、1930年代の中国から2010年代の東南アジアまで、全10章、336点の作品と資料で構成した。会期中には、韓国やマレーシア、日本国内から木版画家や研究者を招聘し、トークイベントやライブイベント、英語による展覧会ツアーを開催したほか、学芸員による国別出品作品のギャラリートーク、韓国およびインドネシアの映画上映のほか、木版画ワークショップなどの多彩なイベントを展開し、アジアにおける木版画自体の魅力とともに、その歴史的な役割や意義を伝えた。

ポスター B2 田嶋正純(デザイン)／株式会社四ヶ所(印刷)
 チラシ タブロイド判 田嶋正純(デザイン)／西日本新聞印刷株式会社(印刷)

図 録 A4(変型判256頁) 田嶋正純(デザイン)／発行:福岡アジア美術館、アーツ前橋／西日本新聞印刷株式会社(印刷)

関 連 事 業 □オープニング・トーク
 アジア美術史を裏返すー木版画にみる抵抗と解放
 講師:黒田雷児(運営部長、本展企画者)
 日時:11月23日(金・祝)14:00~16:00
 会場:あじびホール(8階)

□本展出品作家によるギャラリートーク
 光州民衆美術と〈五月版画〉
 講師:ホン・ソンダム[韓国]、稲葉真以[日本・韓国]
 日時:11月23日(金・祝)16:30~17:30
 会場:企画ギャラリー(7階)

□英語でギャラリートーク
 日時:11月30日(金)、12月14日(金)、1月4日(金)、1月18日(金)
 各日:14:00~14:30
 会場:企画ギャラリー(7階)

□週末ワークショップ①
 みんなでフミフミ、足踏みワークショップ
 講師:Fukuoka Printmaking Club (ふくおか版画同好会)
 日時:12月1日(土)11:00-13:00/14:00-16:00
 会場:アートカフェ(7階)

□週末ワークショップ②
 消しゴムはんこで年賀状をつくろう!
 講師:モリカナエ(梅屋)
 日時:12月15日(土)11:00-13:00/14:00-16:00
 会場:アートカフェ(7階)

□週末ワークショップ③
 新聞から紡ぐ「私のものがたり」
 講師:牛島光太郎
 日時:1月5日(土)11:00-12:30/14:00-15:30
 会場:アートカフェ(7階)

□週末ワークショップ④
 紙に刻む世界~紙版画ワークショップ
 講師:山福朱実
 日時:1月19日(土)11:00-13:00/14:00-16:00
 会場:アートカフェ(7階)

□映画上映
 こんにちはシネラですー福岡市総合図書館収蔵の名作アジア映画を届けますー
 上映作品:
 「浄土アニヤン」(2010年 | 韓国 | 102分 | デジタル上映 | 日本語・英語字幕)

「クルドサク」(1998年 | インドネシア | 99分 | デジタル上映 | 日本語・英語字幕)
日時:12月9日(日)11:00~「浄土アニョン」
14:00~「クルドサク」
会場:あじびホール(8階)
主催:福岡市総合図書館映像資料課

□学芸員によるギャラリートーク

日時:12月15日(土)、1月5日(土)、1月12日(土)
各日13:00~13:30
会場:企画ギャラリー(7階)

□スペシャルトーク

魯迅に博多人形を贈った画家、鎌田誠一
講師:横地剛、黒田雷児
日時:12月16日(日)14:00~16:00
会場:あじびホール(8階)

□パフォーマンス&ギャラリートーク

「買うな、自分で作れ！」
—マレーシアのパンクロック・スラップ)
講師:リゾ・レオン、MCフェディー(パンクロック・スラップ)
日時:1月12日(土)14:00~16:00
会場:あじびホール(8階)、企画ギャラリー(7階)

□クローキング・イベント(映画上映)

上映作品:
「1987 ある闘いの真実」(2017年 | 韓国 | 129分 | デジタル上映 | 日本語字幕)
日時:1月20日(日)①11:00~②14:00~
会場:あじびホール(8階)

関連記事

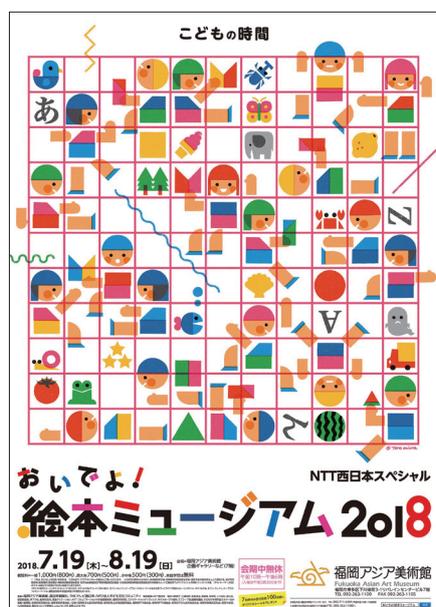
- 2018.10.29 読売新聞(朝)「『民衆のメディア』アジア木版画運動」
- 2018.11.20 シティ情報ふくおか「白と黒の造形がインパクトを与える INTERVIEW 黒田雷児」
- 2018.11.23 東洋経済日報「アジアの近代化に重要な役割を果たす「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」展 23日~来年1月20日 福岡アジア美術館」(WEB版あり)
- 2018.11.23 読売新聞(朝)「アジアの木版画資料400点を展示 福岡で開会式」
- 2018.12. 3 西日本新聞(夕)「『闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s』展」
- 2018.12. 5 アルトネ「魯迅さんに叱られる! 「やみひか」展よた話【コラム】」(<https://artne.jp/column/570>)
- 2018.12. 6 西日本新聞(朝)「手軽な複製メディア 民衆のエネルギー刻む SNSの先駆け 国境越え拡散する共感」
- 2018.12. 7 日本経済新聞(朝)「『闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s』展 「メディア」として社会映す」

- 2018.12. 7 日本経済新聞「『闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s』展 「メディア」として社会映す」(WEB版あり)
- 2018.12. 8 読売新聞(朝)「木版画 民の心刻む 福岡で企画展」
- 2018.12.11 朝日新聞(朝)「歴史刻んだ木版画 体感 福岡・沖縄で作品展示」
- 2018.12.14 アルトネ「民衆のエネルギー刻む SNSの先駆け 国境越え拡散する共感 福岡アジア美術館 「アジアの木版画運動」展【コラム】」(<https://artne.jp/column/574>)
- 2018.12.18 朝日新聞(朝)「『回顧2018』意欲的な企画 美術」
- 2018.12.18 西日本新聞(朝)「『回顧2018』歴史と対話重ね 近代化問い直す 美術」
- 2018.12.24 アルトネ 木下貴子「押し寄せる黒と白の木版画。厚みある内容に身震いした『闇に刻む光』展【レポート】」(<https://artne.jp/report/572>)
- 2018.12.27 ウェブ版美術手帖「2018年展覧会ベスト3 (愛知県美術館 学芸員・中村史子)」(<https://bijutsutecho.com/magazine/insight/19061>)
- 2018.12.28 日本経済新聞(朝) 横地剛「魯迅 日本人青年との友情 地下生活や上海事変を共にした文豪と画家の卵」(WEB版あり)
- 2019. 1. 1 西日本文化 黒田雷児「裸で彫るアジアの近代」
- 2019. 1. 5 読売新聞(朝)「『闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s』① 抑圧する者へ鋭い眼光」
- 2019. 1. 6 ハンギョレ 徐京植「[寄稿]「まだ生きているぞ」- 闇に刻む光」
- 2019. 1. 8 読売新聞(朝)「『闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s』④ 食べ物、教育求める子ども」
- 2019. 1.10 中国新聞「社会と伴走 木版画の軌跡—福岡アジア美術館で展覧会」
- 2019. 1.10 読売新聞(朝)「『闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s』⑤ 民主化 歓喜と相互扶助」
- 2019. 1.13 毎日新聞(朝)「民衆のエネルギー刻む—福岡で「アジアの木版画運動」展」
- 2019. 1.18 朝日新聞(朝)「アジアの木版画 力強く歩み—社会問題めぐり 連帯強める」
- 2019. 4 藝術新潮「成相肇のやっかいもんかいてらんかい No.36 ほる、する、つながる」

関連放送

- 2018.11.22 NHK「ロクいち福岡」
- 2018.11.27 J:COM「デイリーニュース」
- 2018.12. 2, 12. 9, 12.16 ラブエフエム「OUR CULTURE, OUR VIEW」
- 2018.12. 2 NHK「日曜美術館 アートシーン」

NTT西日本スペシャル
「おいでよ！絵本ミュージアム2018 こどもの時間」



会 期 2018年7月19日(木)~8月19日(日)(会期中は無休)
 会 場 企画ギャラリー、アートカフェ
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
 特別協賛 NTT西日本
 協 力 林明子、三浦太郎、宮西達也、偕成社、好学社、こくま社、童心社、福音館書店、ポプラ社、主婦の友社、京田クリエーション、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、福岡市科学館、コスモマーチャンダイズィング、ホテルオークラ福岡、エフコープ生活協同組合、子どもの本専門店エルマーほか
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、cross fm、FM 福岡、LOVE FM
 開催日数 32日間
 観 覧 者 数 59,059人

12回目の開催となる本展は、子どものころに誰もが持っている身近な世界の不思議さに驚き目をみはる感性、そして「子どもの時間」がテーマ。

子どもの心の揺らぎやしぐさのリアルさが繊細に描き出され、多くのファンを魅了してきた「はじめてのおつかい」をはじめ、『スイミー』、『おぼけのパーバ・パパ』、『そらとぶアヒル』、『くっついた』、『おまえうまそうだな』などを中心に、絵本の世界が飛び出したような空間展示を実現。

また、特別協賛のNTTグループの協力のもと、先端のデジタル技術を活用した展示をおこなったほか、自由に手に取って読むことができる約1,000冊

の絵本展示では、「しぜん」「のりもの」「ロングセラー」の絵本を中心に特集。さらにアートカフェではワークショップなどの体験型イベントや絵本の読み聞かせ、アジアギャラリーでは関連したテーマで子どもも楽しめるようなコレクション展をおこない、美術館全体を使った展開を目指した。

ポスター B2 三浦太郎(原画)・マツダヒロチカ(デザイン)／西日本新聞印刷(印刷)
 チラシ A3 三浦太郎(原画)・マツダヒロチカ(デザイン)／西日本新聞印刷(印刷)

関連事業 ◇公開制作
 「三浦太郎さんがつくる、子どもアイデンティティ」
 日時:7月19日(木)、20日(金)、21日(土)、24日(火)、28日(土)、29日(日)

◇ライブペインティング&ワークショップ
 「ピカソになって肖像画」
 講師:藤原いずみ(画家)
 日時:7月21日(土)10:30~12:30

◇ワークショップ
 「いっしょにつくろう！ステンスルアート」
 講師:三浦太郎(絵本作家)
 日時:7月19日(木)11:00~12:00

「絵本ワークショップ」
 講師:子ども文化コミュニティ
 日時:7月20日(金)~8月19日(日)11:00~16:00

「顔ステンスルで自画像をかこう！」
 講師:三浦太郎(絵本作家)
 日時:7月22日(日)10:30~12:00/14:00~15:30

「ねことばワークショップ」
 講師:かしわらあきお(絵本作家)
 日時:7月26日(木)14:00~15:00/16:00~17:00、
 7月27日(金)11:00~12:00/13:00~14:00
 協力:NTT コミュニケーション科学基礎研究所
 提供:主婦の友社、京田クリエーション

「もくねんさん:おがくすでできた粘土で遊ぼう」
 「ジュースの糖度実験」
 日時:8月9日(木)、10日(金)10:00~17:00
 提供:エフコープ生活協同組合

「いっしょにつくろう！ダンボール絵画」
 講師:宮西達也(絵本作家)
 日時:8月12日(日)10:30~12:30

◇絵本の読み聞かせライブ
講師：宮西達也(絵本作家)
日時：8月11日(土)14:00～14:30、
12日(日)14:00～14:30、
13日(月)11:00～11:30

2018. 8.10 TNCテレビ西日本 マニア・マニエラ
2018. 8.11 TNCテレビ西日本 土曜ニュースファイル CUBE (3
万人セレモニー)

◇絵本の読み聞かせ
出演：TNCテレビ西日本アナウンサーほか
日時：会期中毎日 11:30～ / 13:00～

◇トーク
「博多座×絵本ミュージアム絵本『あらしのよるに』原作者きむらゆういちさん」
出演：きむらゆういち(絵本作家)
日時：8月10日(金)14:30～15:20

◇サテライト企画
「絵本とサイエンス！」
会期：8月3日(金)～8月9日(木)
会場：福岡市科学館
主催：TNCテレビ西日本
共催：福岡市科学館

関連記事

- 2018. 6. 1 西日本新聞(朝)「NTT西日本スペシャルおいでよ！絵本ミュージアム2018」
- 2018. 6.22 西日本新聞(朝)「絵本作家、宮西達也さんの絵本の読み聞かせライブ」
- 2018. 7.12 西日本新聞(夕)「おいでよ！絵本ミュージアム2018 19日から福岡市親子で楽しもう」
- 2018. 7.20 西日本新聞(朝)「福岡市で絵本ミュージアム開幕」
- 2018. 8. 1 西日本新聞(朝)「ねことばワークショップを開催」
- 2018. 8. 2 西日本新聞(朝)「絵本通じて科学を学ぼう 福岡市科学館で催し あすから9日まで」
- 2018. 8. 2 西日本新聞(朝)「おいでよ！絵本ミュージアム 会場で絵本作家三浦太郎さんに聞く」
- 2018. 8. 3 西日本新聞(朝)「おいでよ！絵本ミュージアム2018 わくわくおとぎの国 福岡アジア美術館で19日まで」
- 2018. 8. 7 西日本新聞(朝)「入場者3万人突破絵本ミュージアム」
- 2018. 8. 7 アルトネ「3万人突破！ NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム2018」
(<https://artne.jp/news/443>)
- 2018. 8. 7 西日本新聞(朝)「まなざしの先に 絵本ミュージアム2018 ㊶ デジタル 新たな可能性」
- 2018. 8. 8 西日本新聞(朝)「まなざしの先に 絵本ミュージアム2018 ㊶ 胸が高鳴る出会いの場」
- 2018. 8.30 毎日新聞(朝)「新作歌舞伎 あらしのよるに 原作の絵本作家トーク」

関連放送

- 2018. 7.19 TNCテレビ西日本 プライムニュース デイズ
- 2018. 7.19 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア(生中継)
- 2018. 8. 6 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア(3万人セレモニー)

アジアギャラリーでは、所蔵品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観できる展示を行った。同ギャラリー内では、そのほかテーマごとに特設コーナーを設け、3~4ヶ月おきに展示替えをおこなった。平成30年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

海を渡った宝石箱—ガラス・象牙・漆

2018年4月19日(木)~7月10日(火)

絵画といえば、紙や布などの平面に描かれたものが大半だが、19世紀のアジアでは、ガラスや象牙など貴重な素材そのものにも絵が描かれた。人気の高い輸出品として海を渡った、宝石のような光沢のあるガラス絵、精緻な描写がほどこされた象牙の絵と、20世紀にはいり工芸としての漆芸ではなく、絵画としての漆絵が盛んになったベトナム、中国の作品をあわせて紹介。

関連放送

会期中 J:COM「LIVEマルチ情報館」

夏休み子ども企画 サイエンスの眼

2018年7月12日(木)~10月2日(火)

新しくオープンした福岡市科学館と連携し、アートとサイエンス(科学)をテーマに、近代科学の視点を交えながら、いままで気づかなかったアートの魅力を紹介。また期間中には、子どもから大人まで楽しめる科学をテーマとしたワークショップ・コーナーも開設。

関連放送

2018. 7.19~ 9.30 J:COM「LIVEマルチ情報館」

横尾忠則とアジア'89

2018年9月20日(木)~12月25日(火)

1989年、横尾忠則が参加した2つのアジア美術の展覧会「第3回アジア美術展」(福岡市美術館)と「第4回バングラデシュ・アジア美術展」(着目し、「第3回アジア美術展」のポスター原画や当時の図録、映像記録などで、横尾忠則とアジアとのかわり、またそれに先立って、インド大衆芸術に影響を受けて制作された1970年代のポスターを合わせて紹介した。

関連記事

2018.10. 9 リバレインホームページ「Monthly Report! topics & recommend! vol.55【絶対に見逃したくない!「横尾忠則とアジア'89」展/福岡アジア美術館】

(<http://riverain.co.jp/information/monthly/3177/>)

2018.11.18 博多経済新聞「福岡アジア美術館で「横尾忠則とアジア'89」ポスターなど15点」

(<https://hakata.keizai.biz/headline/2963/>)

《第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会 福岡大会》

関連企画

手で考える

2018年10月4日(木)~2019年1月15日(火)

美術の制作方法といえば、まずは「描く」という行為が思い浮かぶが、それだけではない。縫う、染める、彫る、編み込む…。手はさまざまな素材と対話しながら、最良のかたちを直感的に探っている。ここでは、糸や布、木、土などを素材に、手で考え、社会までも編み

込むような手工艺的アプローチをとる作品を紹介。

アジア・ネクストーはじまりの物語

2019年1月2日(水)~9月24日(火)

2019年3月福岡市美術館のリニューアル・オープンを記念し、当館でも胎動する未来を予感させるような、選りすぐりのアジアの現代美術作品を紹介。イスラーム社会における女性の存在を描いた「ビーナスの誕生」ほか、誕生・変身・未来・朝をキーワードに展示した。

関連記事

2019. 3. 1 リバレインホームページ「Monthly Report! topics & recommend! vol.60【2つの異なる展示で観るアジア美術の変遷/福岡アジア美術館】

(<http://riverain.co.jp/information/monthly/3401/>)

時代のモンタージュ—アジア映像の展開

2019年1月17日(木)~3月26日(火)

モンタージュとは、複数の映像の断片を組み合わせることで連続したイメージを作り出す映像技法。本展では、中国の映像表現の先駆者として知られるジャン・ベイリーから自国の歴史・社会・文化にカメラを向けた若手作家まで、自らが生きる時代を複数の視点で捉え、重層的なイメージを描き出すアジア作家の映像表現を、複数のキーワードをヒントに紹介。

関連記事

2019. 3. 1 リバレインホームページ「Monthly Report! topics & recommend! vol.60【2つの異なる展示で観るアジア美術の変遷/福岡アジア美術館】

(<http://riverain.co.jp/information/monthly/3401/>)

あじび研究所

所蔵作品から1点を選び、関連資料、図録や研究成果とあわせて紹介し、知られざる作品の背景に迫るコーナー展示。

2018年4月19日(木)~7月10日(火) 1—グエン・クアン《海の印象》

2018年7月12日(木)~10月2日(火) 2—山城知佳子《あなたの声は私の喉を通った》

2018年9月20日(木)~12月25日(火) 3—A. H. マハヴァル《切望》

2019年1月2日(水)~3月26日(火) 4—グレゴリウス・シダルタ・スギジョ《泣く女神》

関連記事

2018. 7.23 西日本新聞(朝)「学芸員お薦めの所蔵品1点、詳しく解説 福岡アジア美術館が新コーナー 第2期は沖縄の山城知佳子作品」

2018.10. 9 リバレインホームページ「Monthly Report! topics & recommend! vol.55【絶対に見逃したくない!「横尾忠則とアジア'89」展/福岡アジア美術館】

(<http://riverain.co.jp/information/monthly/3177/>)

関連放送

2018. 8 J:COM「LIVEマルチ情報館」

2018.10. 1 J:COM「LIVEマルチ情報館」

2019. 1.14～会期終了まで
J:COM「LIVEマルチ情報館」

交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。



モー・ジアチン／莫佳青
(中国) [美術作家]

1993年生まれ
杭州(中国)在住
滞在期間: 5月17日～7月9日
(10月27日～11月11日※「博多旧市街まるごとミュージアム」で滞在)

□主な活動

①作品制作

カラフルに彩られた近未来的なオープンキッチンでひとりの女性が料理をつくり、芝生でピクニックを楽しむ4人の男性に給仕するという物語の映像作品《魔法の薬》を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)期間中に当館7階で展示した。



制作の様子



撮影の様子



《魔法の薬》2018年
福岡アジア美術館

②ワークショップ

●5月28日、29日

「舞台装置を作ろう！」

舞台美術のレクチャーの後、時間・空間・感情を表す3種類のキーワードをコンセプトに図形と色彩と光を組み合わせたミニチュアの舞台装置を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)期間中に当館8階で展示した。

参加者: シンガポールCHIJ中学校 12人

場 所: 交流スタジオ



ワークショップの様子



ワークショップ作品の展示

③トーク

●5月19日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者: 一般44人

場 所: アートカフェ



トーク



ヴー・キム・トゥー
(ベトナム) [美術作家]

1976年生まれ
ハノイ(ベトナム)在住
滞在期間: 9月11日～11月28日

□主な活動

①作品制作

ベトナム紙「ゾー」や八女和紙などを用いたランタンによるインスタレーション作品《水とみる夢》を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)で龍宮寺三宝大荒神堂に展示した。



八女へ和紙の調査



制作の様子



《水とみる夢》
2018年、龍宮寺

②ワークショップ

●9月29日

「博多町屋」ふるさと館×福岡アジア美術館レジデンス・プログラム「ランタン作りワークショップ」
ヴー・キム・トゥーの制作技法を用いてベトナムと日本の手漉



ワークショップの様子



作品展示

きの紙でランタンを制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)期間中に「博多町屋」ふるさと館に展示した。

参加者: 一般12人

場 所: 「博多町屋」ふるさと館

●10月5日

「雲の下の夢—想像の動物をつくろう！」

3本のワイヤーで作った雲のフレームにベトナム紙を貼り、それに想像の動物を描いて、雲のオブジェにつるしていくワークショップ。「博多旧市街まるごとミュージアム」を含む期間中、ラウンジM8に展示。

参加者: 有田小学校3年生 119人

場 所: 交流スタジオ



ワークショップ



ワークショップ作品展示

③トーク

●9月15日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者: 一般46人

場 所: アートカフェ



トーク

④地域交流イベント

●10月20日

「博多リバレイン灯明」(18頁参照)

場 所: 博多リバレイン フェスタスクエア

関連記事

- 2018. 9.13 朝日新聞(朝)「[福岡情報: イベント]アーティスト・トーク「ヴー・キム・トゥーさん」
- 2018. 9.20 西日本新聞(夕)「[情報: エトセトラ]ランタン作りワークショップ 参加者募集」
- 2018. 9.20 毎日新聞(朝)「[福岡 ぶらり出かけよう: 案内板: 催し]ランタン作りワークショップ」
- 2018. 9.21 読売新聞(朝)「[福岡]ベトナムから来たアーティスト・ヴーさんのワークショップ」
- 2018. 9.28 西日本新聞(朝)「[まちナビ]博多町家でランタン作りワークショップ」



キャンディー・バード
(台湾) [美術作家]

1982年生まれ
台北(台湾)在住
滞在期間: 2月18日~3月29日

□主な活動

①作品制作

移住者や自分の場所になじめずに疎外感を抱く人々などを取材して、彼/彼女らに私的な物語を書いてもらい、それらを壁画に描き出すアート・プロジェクト「アザーズ(他者)」を実施した。



プロジェクトの様子

②ワークショップ

●3月8日

「電車に乾杯！」

キャンディー・バードによるドローイングのデモンストレーションの後、参加者全員で大きな水彩紙に自由に想像した電車の絵を描き、最後にキャンディー・バードが線路を書き加えて完成させた。

参加者: 西戸崎小学校 特別支援学級 1~6年生 12人
場 所: 交流スタジオ



ワークショップの様子

キャンディー・バード (台湾) の壁画プロジェクト
コラボレーター募集!

現在、福岡アジア美術館に駐在中のアーティスト、キャンディー・バードが、壁画、写真、グラフィックにフォーカスし、制作しているアートプロジェクト「アザーズ(The Others)」のなかで、コラボレーターを募集します。あなたの個性も活かしてみませんか?

【アザーズ(The Others) プロジェクトとは】
@aizuru_jp @aizuru_art @aizuru_gallery
キャンディー・バードは、2017年4月より福岡のアートプロジェクト、アザーズ(The Others)に参画して、自分の場所での存在を表現する人々と、その土地で「他者」として生きる人々を題材に、その人々の生活や感情を共に表現・制作しています。制作には互いの個性を活かせるような役割の割り当てを行います。福岡での壁画制作の経験は、福岡アジア美術館の壁画で、5月までの制作を予定しています。

【コラボレーターへの条件】
福岡に在住し、以下のことを3ヶ月間までにご協力いただける方(必須)
①壁画制作の経験(写真、印刷、絵画、彫刻)の得意
●絵画、彫刻、印刷、写真、グラフィック制作
②アートプロジェクトの打ち合わせ 電話
③ご自身の時間、労力を割けること(必須です)
※制作料はご自身の収入が入ります。

【応募方法】
上記の条件に当てはまる方、興味のある方はメールでお送りください。
Eメール: aizuru@art.aizuru.jp
※応募は先着順です。採用決定後、ご連絡いたします。
※応募の受付期間は3月15日までです。その後は、そのアライメントができません。

【応募時期】
3月15日(日)
※採用が決まった場合は、募集期間が過ぎても構いません。
※選考は、作業内容が中心となります。

アーティスト(福岡)
キャンディー・バード
Candy Bird
@candybirdart
1982年生まれ、台湾、美術系大学で美術学を専攻。2010年卒業後、台湾で美術に専攻した人々の生活を題材にしたアートプロジェクト「アザーズ」の制作に参画。

協力者募集のチラシ

③トーク

●3月10日

「福岡アジア美術館20周年記念トークイベントアジア発ローカル美術の現在:路上篇」

参加者: 一般45人
場 所: アートカフェ



トーク

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



チョック・ユエ・ザン
(マレーシア) [美術作家]

1994年生まれ
クアラルンプール(マレーシア)在住
滞在期間: 5月14日～6月24日
シンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行の助成で滞在

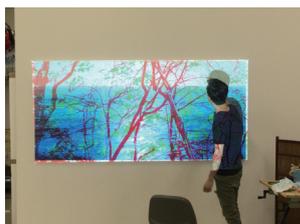
□主な活動

①作品制作

福岡の自然豊かな場所を訪れ、そこで得た刺激や着想をもとに《海の記憶》など平面作品7点を制作し、当館ラウンジM8で作品を公開した。



福岡の自然を調査



制作の様子

②トーク

●5月19日
「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
参加者: 一般44人
場 所: アートカフェ



トーク

●6月23日
「チョック・ユエ・ザン トーク」
参加者: 一般41人
場 所: ラウンジM8、アートカフェ



トークとともに行ったバンブー・ダンスの様子

③作品公開

●6月23日～7月11日
場 所: ラウンジM8



作品公開時のトーク

関連記事

2018. 6.28 朝日新聞(朝)「[福岡情報]チョック・ユエ・ザン 滞在 作品公開」



キム・ジョンヒョン
(韓国) [研究者]

1985年生まれ
ソウル(韓国)在住
滞在期間: 6月18日～7月20日
「2018ACC国際インターンシップ・プログラム」で滞在

□主な活動

①調査・研究

当館が行うアジアのアート・プロジェクトやその過程を調査し、福岡の若手作家やキュレーターとのネットワークを広げた。



クラリッサ・チキアムコ
(フィリピン) [ナショナル・ギャラリー・シンガポール学芸員]

1983年生まれ
シンガポール在住
滞在期間: 12月3日～14日
シンガポール日本商工会議所の支援で滞在

□主な活動

①調査・研究

当館のコレクション展示、および1990年代に開催された2つの展覧会「東南アジア—近代美術の誕生」と「アジア系アメリカ

人芸術作家」、当館所蔵の1940年代から1990年代にかけて制作された抽象絵画の作品について調査した。

②トーク

●12月13日

「あじびコレクションのボランティア向けトーク」

参加者: 当館ボランティア 28人

場 所: アジアギャラリー



シルケ・シュミクル
(ドイツ) [ナショナル・ギャラリー・シンガポール学芸員]

シンガポール在住
滞在期間: 12月3日～14日
シンガポール日本商工会議所の支援で滞在

□主な活動

①調査・研究

当館所蔵のビデオ・アート作品や日本のビデオ・アートについ

て調査・研究した。

②トーク

●12月13日

「あじびコレクションのボランティア向けトーク」

参加者: 当館ボランティア 28人

場 所: アジアギャラリー



くらはし
棕橋彩香
(日本) [研究者]

1993年生まれ
東京在住
滞在期間: 1月15日～3月22日

□主な活動

①調査・研究

当館所蔵のタイの美術作家の作品や写真、資料を中心に、現代美術のなかに仏教がどう描かれているか、社会的、政治的なものがどう美術に落とし込まれているかなどについて調査・研究した。

②トーク

●3月9日

「福岡アジア美術館20周年記念トークイベントアジア発ローカル美術の現在:極楽・地獄篇」

参加者:一般81人

場 所:アートカフェ



リム・ソクチャンリナ
(カンボジア) [美術作家]

1987年生まれ
プノンベン(カンボジア)在住
滞在期間: 3月1日～31日
国際交流基金アジアセンターの助成で滞在

□主な活動

①作品制作・調査

プロジェクト「福岡におけるカンボジア人移民労働者」のため、福岡で暮らすカンボジア人労働者に取材し、作品制作のための調査をおこなった。

②ワークショップ

●3月31日

「カンボジア料理の集い」

福岡市内のカンボジア料理店のオーナーでカンボジアコミュ

ニティの中心人物でもある池田スロス氏を招き、参加者にカンボジア料理をふるまいながら、文化についてのトークと制作中のプロジェクトについて紹介した。

参加者:32人

場 所:アートカフェ

③トーク

●3月10日

「福岡アジア美術館20周年記念トークイベントアジア発ローカル美術の現在:路上篇」

参加者:一般52人

場 所:アートカフェ



ワークショップの様子

「博多リバレイン灯明」

(「第24回博多灯明ウォッチング2018」同時開催)

会 期:10月20日(土)18:00~21:00

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたヴー・キム・トゥー(ベトナム)が参加した。数千個の灯明をつかって、ベトナムの古い版画を題材にして、いきいきとした2匹の魚を地上絵にした。



魚の絵の灯明

教育普及事業

1 体験学習、博物館実習等

◎団体見学

北九州市立大学国際環境工学建築デザイン学科	34人	4月21日
大分県立芸術緑丘高等学校美術科	126人	5月8日
福岡女学院大学人文学部メディア・コミュニケーション学科	1年生 59人	5月12日
九州大学(ビルマ研究会)	10人	5月13日
北九州市立浅川中学校	2年生 90人	5月24日
九州産業大学付属九州高等学校	1年生 70人	5月24日
九州大学人文科学研究院芸術学	11人	5月24日
福岡県立玄界高校	2年生 39人	5月29日
CHIJ校(シンガポール)	12人	5月29日
波佐見町立波佐見東小学校	9人	5月31日
佐賀大学芸術地域デザイン学部	12人	5月31日
九州大学芸術工学部芸術情報設計学科・環境設計学科	27人	7月21日
中村学園大学短期大学部	209人	7月21日
福岡市立香椎第一中学校	25人	8月30日
太宰府市立国分小学校(特別支援学級)	25人	9月14日
宮若市立宮若西中学校	1年生 15人	9月20日
中村学園大学短期大学部幼児保育学科2C造形授業	65人	9月29日
福岡市立有田小学校	3年生 122人	10月5日
北九州市立高生中学校	2年生 17人	10月18日
福岡市立弥永西小学校	6年生 67人	10月23日
福岡市立八田小学校	6年生 96人	10月23日
福岡市立西陵小学校	6年生 42人	10月23日
福岡市立愛宕小学校	6年生 133人	10月25日
福岡市立西長住小学校	6年生 51人	10月25日
交流ワークショップ(福岡市、春日市中学校美術部合同)①	1~3年生 54人	10月28日
交流ワークショップ(福岡市、春日市中学校美術部合同)②	1~3年生 42人	10月28日
福岡女子短期大学	7人	11月6日
福岡市立南当仁小学校	4年生 112人	11月19日
イスラエル大学	14人	11月22日
中村学園大学	57人	11月24日
中村学園大学児童幼児教育学科3EP造形B授業	202人	12月1日
北九州市立木屋瀬中学校	2年生 6人	12月7日
北九州市立篠崎中学校	2年生 90人	12月7日
近畿大学国際学部グローバル専攻	17人	12月8日
筑紫女学院大学アジア文化学科	13人	12月9日
中村学園大学児童幼児教育学科1B基礎造形Ⅱ授業	258人	12月15日
福岡県博多青松高校通信制課程	18人	12月23日
リンデンホール小学部	6年生 25人	1月18日
北九州市立沼中学校	2年生 96人	1月31日
北九州市立板櫃中学校	2年生 47人	1月31日
北九州市立思永中学校	2年生 12人	1月31日
北九州市立折尾中学校	20人	1月31日
福岡市立東住吉小学校	5年生 26人	2月4日
福岡市立弥永西小学校(特別支援学級)	1~6年生 10人	2月4日
福岡市立高取小学校	1~5年生 9人	2月5日
北九州市立本城中学校	2年生 31人	2月8日

北九州市立花尾中学校	2年生 121人	2月26日
リンデンホール小学部	1年生 25人	3月1日
福岡市立西戸崎小学校(特別支援学級)	1~6年生 15人	3月8日
北九州市立湯川中学校	2年生 37人	3月14日

◎職場体験学習

福岡市立那珂中学校	4人	7月3日、4日
福岡市立三宅中学校	5人	7月10日、11日
福岡市立三筑中学校	3人	8月8日、9日
福岡市立高宮中学校	5人	8月23日、24日
福岡市立博多中学校	4人	8月23日、24日
福岡市立警固中学校	2人	8月29日、30日
福岡市立高取中学校	5人	8月29日、30日
福岡市立松崎中学校	5人	8月29日、30日
福岡市立多々良中学校	5人	8月29日、30日
福岡市立宮竹中学校	5人	9月4日、5日
福岡市立平尾中学校	5人	9月4日、5日
福岡市立舞鶴中学校	3人	9月4日、5日
福岡市立城西中学校	5人	9月5日、6日
福岡市立青葉中学校	4人	9月5日~7日
福岡市立梅林中学校	2人	9月6日、7日
福岡市立当仁中学校	3人	9月11日、12日
福岡市立東住吉中学校	4人	9月11日、12日
福岡市立玄洋中学校	5人	9月12日、13日
福岡市立内浜中学校	5人	9月12日、13日
福岡雙葉中学校	4人	10月17日、18日

◎博物館実習

(5月から10月までの中で10日間程度)

西南学院大学	1人
福岡大学	1人
佐賀大学	1人
筑紫女学院大学	1人
九州産業大学	1人

◎夏期インターンシップ

福岡常葉高等学校	1人	8月6日~10日
福岡海星女子学院高等学校	2人	8月6日~10日
福岡工業大学付属城東高等学校	2人	8月6日~10日

ミュージアム施策事業

1 福岡ミュージアムウィーク

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の19施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、ハクハク、味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館)が連携し、5月12日から20日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□講演会

アートカフェオープン記念！ クロストーク～本、アジア、カフェ～

5月12日(土)14:00～16:00

話し手:大井実(ブックスキューブリック代表)、
前田勝利(MIC工房代表取締役、建築家)

参加者:一般56人

場 所:アートカフェ



クロストーク

□ギャラリーツアー

5月14日(月)、15日(火)、17日(木)、18日(金)14:00～14:40

参加者:一般38人

場 所:アジアギャラリー

□バックヤードツアー

5月13日(日)、21日(日)13:00～14:00

参加者:一般36人

場 所:バックヤード

□アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)

①11:30～12:00 ②13:00～13:30

参加者:未就学児と保護者50人



ギャラリーツアー

□滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～

5月19日(土)14:00～15:00

話し手:モー・ジアチン/莫佳青[中国](H30年度当館招聘美術作家)

参加者:一般44人

場 所:アートカフェ

□その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 参加館を巡るスタンプラリー
- チャレンジ☆あじコレ絵日記!

関連記事

2018. 5.15 西日本新聞(朝)「美術・博物館は「交流の場に」 ミュージアムウィーク 専門家が講演 中央区」



バックヤードツアー

2 博多旧市街まるごとミュージアム

会期:2018年10月31日(水)~11月4日(日)
会場:出来町公園、龍宮寺、「博多町家」ふるさと館、冷泉公園、川端通商店街、福岡アジア美術館、博多座
主催:まるごとミュージアム実行委員会
〔福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団〕
開催日数:5日間
観覧者数:44,626人
参加作家:7組

(牛嶋均、ストーリーボックス、ヴー・キム・トゥー*、とよだまりさ、鈴木康弘、モー・ジアチン/莫佳青*、チュンリン・ジョリー・モク**)
*は、H30年度当館招聘美術作家。
**は、当館所蔵作家。

歴史を感じる舞台上でアート作品を展示する屋外型アートイベント「まるごとミュージアム」。その第2弾として、博多旧市街エリアを舞台に開催。中世最大の貿易港湾都市・博多の中心として栄えたこの地域に、屋外ならではの巨大な作品や、作家が福岡に滞在し制作した作品など、国内外の7名・組の作家による作品で、「古い」と「新しい」が混在した新しい発見を創出した。

ポスター/B2	河村美季(デザイン)／株式会社四ヶ所(印刷)
チラシ/A4	河村美季(デザイン)／株式会社四ヶ所(印刷)
リーフレット/A3折たたみ	河村美季(デザイン)／株式会社四ヶ所(印刷)

関連記事

2018.11. 3 西日本新聞(朝)「博多旧市街にアートすらし あすまで「まるごとミュージアム」」



ヴー・キム・トゥー《水とみる夢》2018年、龍宮寺



モー・ジアチン《魔法の薬》2018年、福岡アジア美術館



チュンリン・ジョリー・モク《店を見る》2015年、川端通商店街

ボランティア事業

8つのグループに分かれて活動をおこなった。2018年3月末にリニューアルした7階のアートカフェに合せて図書資料ボランティアの活動内容を見直し、ガイドラインの改定をおこなった。ボランティア自主企画の研修として5月～10月に福岡市内のパブリックアートについて調べ発表する「アジア街中アートめぐり」を実施した。9月に、大分県立美術館サポーターが来館し、当館ボランティアと交流をおこなった。3月に総会、および活動を10年以上継続したボランティアを顕彰する感謝状贈呈式をおこなった。

活動内容およびグループ別のべ人数（ひとりが複数のグループで活動可）

平成31年3月現在

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	53
図書資料	アートカフェの書架整理および蔵書点検	36
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連資料の整理補助	43
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	22
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	22
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	29
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	13
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	193
	延べ人数	411
	ボランティア登録者数	193

活動

【案内・解説】

4月1日より活動開始。「アジ美の魅力を伝えよう！」を年度目標に、開館日に毎日施設案内やアジアギャラリーの作品解説を行い(13:00～16:00)、学校を始めとする団体や個人の見学希望者に随時案内を行った。5月12日～20日の「福岡ミュージアムウィーク」では「ボランティアによるギャラリーツアー」を4回実施した。学校からの要望に応じて対話型鑑賞を団体見学の案内に取り入れた。

【図書資料】

4月1日より活動開始。「アートカフェを楽しもう！」を目標に活動を行った。それまで図書閲覧室での公開に限られていた蔵書を、来館者により多く利用してもらうため新設したアートカフェに移動・設置したのに伴い、図書資料ボランティアの活動も装備中心から書架整理や蔵書点検などを主にしたものに変更した。毎月10日の月例ミーティングでもアートカフェの利用促進について話し合いをおこなった。

【学芸資料】

4月1日より活動開始。「1月1回のミーティングへの出席、月2回、1回2時間の作業の徹底、連絡ノートの充実」を年度目標に、新聞5紙のアジ美関連記事のスクラップを行った。毎月1日に月例ミーティングをおこなった。

【展覧会情報】

4月5日より活動開始。「デジタル化作業の普及とスキルアップ、パソコン作業をする人の人数を増やす」を年度目標に、毎月第1・3木曜および第2・4土曜を中心に展覧会のチラシやハガキの受入れとファイリングおよび館内設置などをおこない、雑誌のアジ美掲載記事のスキャン作業などを行った。

【広報】

4月2日から活動開始。「アジア美術館のよさを体感し広報活動にいかそう」を年度目標に活動をおこなった。季刊広報誌「あじびニュース」および「おいでよ！絵本ミュージアム2018」「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」などの特別企画展のポスター、チラシを発送した。毎月10日にミーティングをおこなった。

【読み聞かせ】

4月8日より活動開始し、毎月第2・第4火・日曜日に活動をおこなった(各日2回開催)。「アジア美術館ならではの読み聞かせをしよう」を目標に、絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。4月開催の「くまのバディントン展」の会期に合わせてバディントンの絵本を読む等、展覧会にちなんだ題材の絵本も取り上げた。隔月開催のミーティング後に自主勉強会を開催しスキルアップに努めた。



「アジア街中アートめぐり」



「アジア街中アートめぐり」



交流ボランティアによる滞在制作サポート

【交流】

第Ⅰ期レジデンスプログラムの滞在アーティスト、モー・ジアチンの映像作品撮影で小道具の提供をおこなった。「おいでよ！絵本ミュージアム2018」の会場見守りや誘導などを行った。第Ⅱ期レジデンスプログラムの滞在アーティスト、ヴァー・キム・トゥーのワークショップ作品の展示に使用する雲のオブジェ制作を行った。10月20日開催の「博多リバレイン灯明」の設置、撤収作業をヴァー・キム・トゥーと一緒にこなした。「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」展の関連イベントで実施した版画ワークショップのサポートをおこなった。

【活動支援】

4月5日より活動開始。「もう一年、自分たちが楽しめる活動を！」を目標に活動を行った。6か月間に及ぶボランティア研修「アジア街中アートめぐり」を実施し、滞在アーティストの歓迎会、連絡当番ミーティング、他館ボランティアとの交流会を実施したほか、総会のサポート、館長インタビュー等を行った。

《活動支援ボランティア主催の催事》

◇連絡当番ミーティング

5月26日、8月25日、12月1日

◇研修会「アジア街中アートめぐり」

4月5日～ 各グループミーティングに参加し趣旨説明
および参加呼びかけ
6月～10月 月例ミーティングで作品調査・研究報告
10月11日・13日 リハーサル
10月27日 研修会開催

◇レジデンス歓迎会

5月19日 第Ⅰ期レジデンス・プログラム
9月15日 第Ⅱ期レジデンス・プログラム

◇他館ボランティアとの交流会

9月22日 大分県立美術館サポーター

◇新館長インタビュー

10月30日 石田佳久館長

◇交流会

2019年1月19日 第1部 松浦仁学芸員によるトーク
第2部 親睦会(祝開館20周年)

□その他(館主催)

◇平成30年度ボランティア総会

2019年3月16日

◇10年感謝状贈呈式

2019年3月16日

◇担当学芸員によるボランティア向けギャラリートーク

展示替え毎に各2回実施



大分県立美術館サポーターとの交流会



10年感謝状贈呈式



開館20周年を祝う交流会

あじびニュース



Vol.72 2018.4.1発行

- 2018年度展覧会スケジュール
- 海を渡った宝石箱—ガラス・象牙・漆
- あじび研究所
- 2018年度レジデンス・プログラムのご紹介
- 今年もお楽しみに！ 福岡ミュージアムウィーク2018
- あじびの大リニューアル—階段にアートカフェ、1階に壁画が誕生！
- 私の逸品—田中勇氣さん
- インドネシアからの受入支援研究者・バルトさん
- 福岡アジア美術館インフォメーション2018年4月—6月



Vol.73 2018.7.1発行

- おいでよ！絵本ミュージアム2018
- 夏休み子ども企画 サイエンスの眼
- あじび研究所2
- 1990年代生まれの若きアーティストたち。その表現とは
- 福岡城まるごとミュージアム
- 福岡ミュージアムウィーク2018
- 福岡アジア美術館インフォメーション2018年7月—9月



Vol.74 2018.10.1発行

- 闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s
- 手で考える
- 横尾忠則とアジア'89
- あじび研究所3
- 私の逸品—小副川太郎さん
- あのポップな壁画が、ミュージアムグッズに仲間入り！
- この秋、「博多旧市街まるごとミュージアム」が開催！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2018年10月—12月



Vol.75 2019.1.1発行

- 「闇に刻む光」黒田部長による個人的ベストセクション
- アジアネクスト—はじまりの物語
- 時代のモニター—アジア映像の展開
- 博多旧市街まるごとミュージアム フォトレポート
- 1~3月に滞在するアーティスト・研究者たち
- 私の逸品—宮田君平さん
- 3月6日、あじびが二十歳になります！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2019年1月—3月

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)
 デザイン 大村政之(クルール)
 和文英訳 ステファニー・オリー

リーフレット

平成31年度展覧会リーフレット

2019.3.31発行

- 展覧会のご案内2019年4月—2020年3月
- レジデンス事業のご案内
- 各種ご案内

企画

幅396×縦210mm(両面カラー・両観音4つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

デザイン 北里俊明

ホームページ

<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、
アジア美術館の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、ミュージアムカフェ、団体観覧

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、スケジュール

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

Facebook

<https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/>

ブログ

<http://faamajibi.blogspot.com/>



所蔵作品

新所蔵作品数 H30年度

	購入	寄贈	合計
絵画	1	1	2
版画	23	33	56
写真	2	0	2
映像	0	0	0
立体	0	4	4
合計	26	38	64

※作品データは、以下の順で記載
 作家名(拠点)
 タイトル
 制作年
 ジャンル 素材
 サイズ(cm)

新所蔵作品一覧

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1 チッタプロサド(インド)
魚採り(洪水)
1952
版画 リノカット・紙
18.6×24.6 | 9 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
バンクロック・スウラップ
2013/2018
版画 木版・紙
43×33 | 17 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
海は命
2014/2018
版画 木版・紙
46×36 | 25 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
いつも伝統とともに、資本主義と
闘え
2016/2018
版画 木版・紙
51×38.5 |
| 2 ラムキンカール・バイジ(インド)
涙
1940年代前半
版画 リノカット・紙
12.4×18.8 | 10 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
イノシシ肉はキナバル登山より
安い
2013/2018
版画 木版・紙
43×33 | 18 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
自由な生活
2014/2018
版画 木版・紙
49.5×38 | 26 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
民衆の祝祭
2017/2018
版画 木版・紙
48×38 |
| 3 ブー・ホア(ト樺)(中国)
最良のものはすでにある
2017
平面 インクジェット印刷、ライト
ボックス
62.5×180 | 11 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
戦争でなく、ピースを作れ
2014/2018
版画 木版・紙
46×39 | 19 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
祝労働者の日!! メーデー
2014/2018
版画 木版・紙
45.5×48.5 | 27 チュー・ケンクワン(朱慶光)
(シンガポール)
513事件
1954/1997
版画 木版・紙
20.5×15.5(寄贈) |
| 4 ジャン・ジャオタン(張照堂)
(台湾)
新荘
1964/2018
写真 ゼラチンシルバープリント
30×45.7 | 12 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
違いを認めよう
2014/2018
版画 木版・紙
36×35.5 | 20 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
文化の攻撃
2015/2018
版画 木版・紙
45×36 | 28 グエン・ダン・サン(ベトナム)
独立と平和のために勉強しよう
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
26.4×17.3(寄贈) |
| 5 ジャン・ジャオタン(張照堂)
(台湾)
竹北
1984/2018
写真 ゼラチンシルバープリント
30.6×45.6 | 13 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
一人前になるには行動あるのみ
2014/2018
版画 木版・紙
46×36 | 21 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
買うな、自分で作れ
2015/2018
版画 木版・紙
48×38.5 | 29 グエン・ダン・サン(ベトナム)
落ちた米軍機を運ぶ
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
19.7×26.8(寄贈) |
| 6 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
ボンクッド・ナマウス
2016/2018
版画 木版・綿布
120×240 | 14 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
この土地は私のもの
2014/2018
版画 木版・紙
49×38 | 22 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
自然をつくろう
2015/2018
版画 木版・紙
46×36 | 30 グエン・ダン・サン(ベトナム)
壊されても、直して進もう
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
19.5×26.6(寄贈) |
| 7 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
借金があるから私たちは働く
2013/2018
版画 木版・紙
44×33 | 15 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
タバイを飲んで、飛ばう
2014/2018
版画 木版・紙
49×38 | 23 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
自分でつくる
2015/2018
版画 木版・紙
45×37 | 31 グエン・ダン・サン(ベトナム)
パラシュート米兵を刺す
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
16.8×29.1(寄贈) |
| 8 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
ピースは死なず
2013/2018
版画 木版・紙
43×33 | 16 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
私の後ろに村人がいる、村人の後
ろには私がいる
2014/2018
版画 木版・紙
48×38 | 24 バンクロック・スウラップ
(マレーシア)
祭りの季節の特別料金
2016/2018
版画 木版・紙
46×38 | 32 グエン・ダン・サン(ベトナム)
訓練 大衆教育
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
26.8×17.9(寄贈) |
| | | | 33 グエン・ダン・チェ(ベトナム)
ホーおじさん
1970/2010
版画 木版・紙
19.9×26.5(寄贈) |



プー・ホア(ト樺)
《最良のものはすでにある》
2017年



ジャン・ジャオタン(張照堂)
《新莊》
1964/2018



バンクロック・スクラップ
《違いを認めよう》
2014/2018

- | | | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|----|---|
| 34 | グエン・ダン・チェ(ベトナム)
奴らを逃がすな
1972/2010
版画 木版・紙
18.6×27.5(寄贈) | 42 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
文明進歩(男女と自転車)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
26.2×17.3(寄贈) | 50 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
騎馬像(ベトナム装)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
37.6×26.2(寄贈) | 59 | ワン・リーウェン(王俐文)、コー・
シントン(柯辛彤)、ジャン・ジア
アン(張家安)、ジャン・ファンニ
ン(張芳寧)、リアオ・シュージュ
エン(廖淑娟)、ライルイリン(賴
睿聆)、ウェイ・ユーティン(魏鈺
婷)(台湾)
人民の目覚めが我々の未来を決
める
2014
版画 木版・紙
17×32(寄贈) |
| 35 | グエン・ダン・チェ(ベトナム)
ベトナムの英雄的な女性を讃える
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
16.5×27.2(寄贈) | 43 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
社交ダンス
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
22.9×17.3(寄贈) | 51 | イ・ユニョプ(李允燁)(韓国)
非正規職のない世の中
2008
版画 木版・紙
24×35(寄贈) | 60 | チョック・ユエ・ザン(マレーシア)
海の記憶2
2018
絵画 アクリル、木炭・画布
103×218.4(寄贈) |
| 36 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
牛車とトラック
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
18.8×27.7(寄贈) | 44 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
風俗改良(娼師と自転車乗り)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
19.4×26.6(寄贈) | 52 | ジャン・ジアアン(張家安)(台湾)
非暴力
2008
版画 木版・紙
13.5×19.5(寄贈) | 61 | シア・アイホワ(夏愛華)(台湾)
種4
2006
立体 脱活乾漆(天然漆、色漆、麻)
9×7×7(寄贈) |
| 37 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
独立のお祝い
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
15×22.3(寄贈) | 45 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
文明進歩(自転車に乗る若い男性)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
24.7×17.5(寄贈) | 53 | ジャン・ジアアン(張家安)(台湾)
自由・民主を守れ
2014
版画 木版・紙
14.5×14.8(寄贈) | 62 | シア・アイホワ(夏愛華)(台湾)
雲の使者
2013
立体 脱活乾漆(天然漆、色漆、麻)
12×5×11(寄贈) |
| 38 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
一緒に平和を歌おう
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
15.2×22.2(寄贈) | 46 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
徴姉妹
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
17.3×26.9(寄贈) | 54 | ジャン・ジアアン(張家安)(台湾)
ブラック・ボックス服貿協定を拒絶
2014
版画 木版・紙
14.7×15(寄贈) | 63 | シア・アイホワ(夏愛華)(台湾)
甦生の妖精一嵐
2013
立体 脱活乾漆(天然漆、色漆、麻)
21×14×7(寄贈) |
| 39 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
農作業
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
27.8×17.5(寄贈) | 47 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
労働者仲間(水牛で耕作)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
25.7×18.2(寄贈) | 55 | ジャン・ジアアン(張家安)(台湾)
人民の声を聴け
2014
版画 木版・紙
15×15(寄贈) | 64 | シア・アイホワ(夏愛華)(台湾)
苔一藤5
2016
立体 脱活乾漆(天然漆、色漆、白金、
麻)
6×9×11(寄贈) |
| 40 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
農作業(増備生産)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
28.1×18.1(寄贈) | 48 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
労働者仲間(6人の農作業)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
18.6×25.7(寄贈) | 56 | ジャン・ジアアン(張家安)(台湾)
愛 平和 がんばれ!
2014
版画 木版・紙
15.2×15.2(寄贈) | | |
| 41 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
風俗改良(男女と車)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
26.4×19.6(寄贈) | 49 | 作者不詳(ドンホー版画)
(ベトナム)
騎馬像(洋装)
制作年不詳/2010年(再刷)
版画 木版・紙
37×25.6(寄贈) | 57 | ウェイ・ユーティン(魏鈺婷)
(台湾)
泣く台湾
2014
版画 木版・紙
29.5×21(寄贈) | | |
| | | | | 58 | ジャン・ファンニン(張芳寧)
(台湾)
鶏の成長のための飼料になりた
いのか?
2014
版画 木版・紙
15×15(寄贈) | | |

所蔵作品 2 貸出一覧

※平成30年(2018)年4月以降

貸出先: ナショナル・ギャラリー・シンガポール
展覧会名: ①宣言と夢の間: 19世紀以降の東南アジア美術
②あなたのお名前は?: 19世紀以降の東南アジア美術
展示期間: ①2017年12月7日(火)~2019年4月1日(月)
②2015年10月20日(火)~展示中
作品点数: ①1点
②2点

	作者	作品名
①	1 グエン・カン	ホーおじさん、村へ行く
②	2 タン・ダウ	虎の鞭
②	3 タン・ダウ	彼等は犀を密漁し、角を切ってこのドリンクを作った

貸出先: ①スイス・ジュネーヴ近現代美術館
②イギリス・バルティック現代美術センター
③ロシア・ガレージ現代美術館
展覧会名: ラシード・アライーン回顧展
展示期間: ①2018年5月30日(水)~9月9日(日)
②2018年10月26日(金)~2019年2月15日(金)
③2019年3月14日(木)~6月16日(日)
作品点数: 1点

	作者	作品名
1	ラシード・アライーン	ソネ・キ・チリヤ

貸出先: ①東京国立近代美術館
②韓国国立現代美術館
展覧会名: アジアにめざめたら: アートが変わる、世界が変わる 1960-1990年代
展示期間: ①2018年10月10日(水)~12月24日(月・祝)
②2019年1月25日(金)~5月7日(火)
作品点数: 1点

	作者	作品名
1	タン・ダウ	彼等は犀を密漁し、角を切ってこのドリンクを作った

貸出先: 熊本市現代美術館
展覧会名: 魔都の鼓動 上海現代アートシーンのダイナミズム
展示期間: 2018年9月22日(土)~11月25日(日)
作品点数: 2点

	作者	作品名
1	ジャン・ペイリー(張培力)	ドキュメント:衛生 No.3
2	ヤン・ジェンジョン(楊振中)	吹く!

貸出先: 韓国・慶南道立美術館
展覧会名: アジアのなかの「アジア」ー地域からの政治
展示期間: 2019年2月14日(木)~5月12日(日)
作品点数: 2点

	作者	作品名
1	ディン・Q・レ	南シナ海ピシュクン
2	ウォン・ホイ・チョン	暗い穴

作者	作品名
1 キム・ファンギ	《無題》

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
27年度	311	49,477	54,117	186,158	289,752	932
28年度	311	65,061	49,082	137,182	251,325	808
29年度	313	66,383	62,999	183,358	312,740	999
30年度	312	56,467	64,460	160,262	281,189	901
累計	6,068	1,006,289	1,686,036	2,361,050	5,053,375	

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	16,526	34,794	14,915	26,862	54,991	36,055	12,038	8,874	7,183	12,574	9,005	47,372	281,189

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	8	8	21	8	9	23	19	12	8	6	14	13	149
人数	755	893	1,456	469	718	3,738	2,392	1,412	725	525	1,399	933	15,415

あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
27年度	135	11,361
28年度	135	12,874
29年度	153	13,835
30年度	149	15,415
累計	2,265	216,011

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	6	481
セミナー	19	2,296
アーティストトーク	0	0
ワークショップ	5	373
映画	40	5,218
演劇	7	736
音楽	5	328
落語	7	805
漫才	4	545
展示	25	2,011
ボランティア	2	121
その他	29	2,501
合計	149	15,415

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数	
					一般	高・大	小・中	計		
常設展		312	56,467	181	13,342	2,190	0	15,532	40,935	
特別企画展	おいでよ！絵本ミュージアム2018	7月19日～8月19日	32	59,059	1,846	19,020	783	4,697	24,500	34,559
	闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s～2010s	11月23日～1月20日	46	5,401	117	2,682	565	0	3,247	2,154
	合計	78	64,460		21,702	1,348	4,697	27,747	36,713	

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
くまのバディントン展	3月10日～ 4月15日	13	6,174	児童小説「バディントン」シリーズの原作者、マイケル・ポンド氏(1926～2017)の生前のインタビュー映像や、児童書の挿絵で知られるベギー・フォートナムや絵本作家らの原画、世界中で出版された書籍など、多彩な展示でバディントンの世界を紹介。
ミュシャ展 ー運命の女たちー	4月21日～ 5月27日	32	25,508	19世紀末に、アールヌーヴォーの栄華を彩った“ミュシャ”の描いた女性たちの作品を一挙公開。パリの人気舞台女優サラ・ベルナルの公演ポスター「ジスモンダ」をはじめ、「椿姫」や「ジョブ」など、ミュシャの代表作約150点を展示。
アートスタジオアライブ鉛筆画教室100人展	5月31日～ 6月 5日	6	1,305	鉛筆画教室の生徒約100名が、鉛筆のみで描いた作品を約200点一同に展示。
花と光のフェスティバル作品展	5月31日～ 6月 5日	6	1,785	押し花を額装した作品や、押し花ではなく生花をそのまま立体的に乾燥させ額装した「レカンフラワー作品」、ステンドグラスの雰囲気を手軽に楽しめる「グラスアート作品」など、その他にも数種類の手づくりアートを約200点ほど展示。
第26回アジア美術家連盟日本委員会展	6月 7日～ 6月12日	6	1,215	油彩、日本画、版画、水彩、彫刻、造形作品の展示。約100点。
イメーラボ写真教室第18回作品展	6月14日～ 6月19日	6	1,233	福岡市、高宮と天神とで開催されている写真教室、全受講生による写真展。各自、自由なテーマで展示方法にも工夫した作品約150点と写真集が展示。
第21回「曹亜鋼水墨芸術学院」福岡地区作品展	6月14日～ 6月19日	6	504	伝統的な墨を基調とした水墨画だけでなく、黒と色を重ねていく手法や、様々な新しい技法を使った学院生の作品約70点と曹亜鋼学院長の作品約5点を展示。
第77回 創元展 福岡巡回展	6月21日～ 6月26日	6	3,444	全国選抜巡回作品と地元福岡支部員・佐賀支部員の作品約150点の油彩・水彩・版画を展示。
第46回日本の書展 九州展	6月28日～ 7月 3日	6	1,325	日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠14人をはじめ、代表作家や委託作家、各県からの選抜作家など473点の作品が並ぶ。
日韓交流IMPACT展2018	7月 5日～ 7月10日	6	592	日韓両国の作家約40名程度の作品を展示。
第17回現美墨象展	7月 5日～ 7月10日	6	744	墨象とは書の造形美、精神性などを追求し、作者のイメージに合わせて文字を再構築し、読めるという機能を越えた書の新しい領域を探る芸術。
新作がいっぱい！魔法の美術館 リターンズ	8月25日～ 9月30日	32	27,258	日本を代表するメディア・アート作品の新作15点のほか、前回最も人気のあったスプラッシュ・ディスプレイのコーナーが大きなスケールになって登場。
第11回福岡市障がい児・者美術展「福岡コアサイド・アート2018」	10月 4日～10月 9日	6	1,167	純粋にアートを楽しんでいる人たちの芸術「福岡コアサイド・アート2018」。
第23回福岡市美術連盟展	10月11日～10月16日	6	1,541	日本画・絵画・彫刻・工芸・写真・グラフィックデザインの6つの分野で、福岡を拠点に多様な創作活動を行っている会員たちが一堂に集まって行う展覧会。
第71回示現会展 全国巡回福岡展	10月18日～10月23日	6	2,849	東京展において917点の中から選抜された30点(受賞作品なども含む)と地元作品(山口・福岡・佐賀・長崎・大分)と合わせて115点を展示。
第29回集団AUF展	10月25日～10月30日	6	388	染織、洋画、空間造形などジャンルの異なった作家が集まって、立体平面インスタレーション等、常に新しい造形を旨として、意欲的に取り組んで作品を発表。
中国当代芸術家作品展「目光所及」	10月25日～10月30日	6	299	現代中国の脂の乗った中堅どころの画家の力を集結し、金融危機後の時代のもと成長し、そのライフスタイルを体現した若き情熱が引き起こした中国現代芸術の革命的潮流をご紹介。
有元伸也写真展「カルカット、カトマンズ、チベット、東京」	10月25日～10月30日	6	444	有元伸也の25年にわたる写真活動から、ポートレートを中心に構成した作品約130点を展示。
KYUSHU ADC AWARD 2018	11月 1日～11月 6日	6	1,782	ジャンルの壁を越え、魅力あるクリエイティブを選出。
第39回中央区市民文化祭美術作品展	11月 8日～11月13日	6	1,025	「一般の部」と「小・中学生の部」の2部門あり、大人から子どもまで幅広い年齢の方々から出品。
Heart Art in FUKUOKA 2018 第21回エイズチャリティー美術展	11月 8日～11月13日	6	727	表現者と鑑賞者が、相互に作用しあうことで、精神的、感覚的な変動を得ることが出来る「アート」の力を通して、エイズに対する正しい知識を広めることを目的に、21年続く「エイズチャリティー美術展」。
葦の家福祉会作品展「なに？ナニ？What？」	1月24日～ 1月29日	6	699	利用者(約70人)の自由でのびのびとした作品を展示。(絵画・造形作品・刺繍など約200点)
第7回北欧生まれの手創りじゅうたん ダネラ全国展	1月24日～ 1月29日	6	798	北欧生まれの手創りじゅうたん「ダネラ」。総出展作品65点の力作が揃う。
福岡デザイン専門学校 第21回卒業制作展+アジアデザイン交流展	1月31日～ 2月 5日	6	1,259	福岡デザイン専門学校の第21回卒業制作展と提携校である台湾の国立彰化師範大学附属高級工業職業学校と華夏技術学院とのデザイン交流展。
ファインアート展ー第47回福岡市中学校特別支援学級合同作品展ー	1月31日～ 2月 5日	6	1,475	福岡市内の中学校特別支援学級に在籍する生徒たちが作ったもの。日頃の学習の成果を発表するもので、絵画、手芸、陶芸、書、木工などで構成。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
2018アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA	2月 7日～ 2月12日	6	1,074	九州大学と福岡県・福岡市などが中心となって主催するメディアアートコンペティション「2018アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA」。受賞作品展示や上映、さまざまなプログラムを通じて紹介。
九州産業大学 芸術学部 卒業制作展・芸術研究科 修了制作展	2月14日～ 2月19日	6	1,194	九州産業大学 芸術学部・芸術研究科における学生生活の集大成として卒業制作を発表する卒業・修了制作展。
生誕120年 イスラエル博物館所蔵 ミラクル エッシャー展	2月28日～ 3月30日	27	37,258	世界最大級のエッシャーコレクションを誇るイスラエル博物館の所蔵品より、代表的な「トロンプ・ルイユ(だまし絵)」の作品に加え、初期の作品や木版、直筆のドローイングなど選りすぐりの約150点を紹介。
合 計		248	125,066	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
江海 龍展	3月29日～ 4月 3日	3	378	昔から龍神と言われ、商売繁盛・家庭円満・健康・出世などの守り神とされる龍をテーマに、700年前の中国永楽宮の技術と水晶、金箔などの画材を用いた作品を展示。
躍動する現代作家展 2018 国際公募	4月 5日～ 4月10日	6	1,110	今、活躍する現代作家を福岡を中心に国際的に公募し、入場無料の企画展で社会と文化を繋げ、芸術の文化交流を図る事を目的としている企画展。
アートプランナー美術展vol.4 燦然たるオブジェたち	4月12日～ 4月17日	6	325	現役作家の絵画、彫刻、工芸、コレクション作品展示。
テキスタイルアート・ミニチュール5 百花百羅	4月19日～ 4月24日	6	380	「染める・織る・編む・組む・縫う」などのテキスタイルの基本的な技法や繊維素材をベースとして、各世代の100名のアーティストが20×20×20cmという限られた空間に、「飛躍」「躍動」「躍如」などにも使われる「躍」をテーマに従来のスタイルを越えた表現の可能性を求め、内容豊かな世界を展開。
松田美末子アート表装「游心会」作品展	5月 3日～ 5月 8日	6	810	江戸後期から昭和初期までの貴重な古裂(こぎれ)を使って制作した屏風、掛軸、額装、パネルなど120点を展示。
アトリエの仲間達 10人展	5月10日～ 5月15日	6	945	作品、約60点を展示。
第17回 福岡江古田会アート展「江古田会とその仲間たち」	5月17日～ 5月22日	6	658	写真・絵画・陶芸・書・工芸・デザインなど約150点の作品を展示。
第1回 七つの視線展	5月24日～ 5月29日	6	985	彫刻2人、油絵2人、デッサンアクリルの平面・半立体・立体等3人、計七名のメンバーによる抽象具象の作品群を展示。
第10回 ひと葉の会日本画展	5月31日～ 6月 5日	6	768	金箔、墨、雲母、岩絵具、水干絵具を使った小品を中心に陳列。
日中平和友好締結40周年 姚明とその仲間達の美術展	6月 7日～ 6月12日	6	518	日中両国芸術家が現代水墨画、洋画、書道作品約80点を展示。
第13回 ぶらり葦本の会作品展	6月14日～ 6月19日	6	920	葦ペンが生み出す味わいのある独特の線で描かれた作品。約60名100点ほどの作品展示。
吉本統治と彩光会8人の仲間たち写真展	6月21日～ 6月26日	6	829	吉本統治と彩光会8人の仲間たち写真展。
武蔵野美術大学校友会 九州+沖縄合同展	6月28日～ 7月 3日	6	573	様々なジャンルで活躍中の九州7県+沖縄県の支部メンバーから選抜した作品。
阿部直昭絵画教室「彩友会」展	7月 5日～ 7月10日	6	431	彩友会の生徒約80名の展覧会。油絵はSM～10号までの花・生物・風景・抽象作品約80展。子どもの絵はクレパス・水彩画約50点。
吉祥聖境	7月12日～ 7月17日	6	534	唐卡・曼荼羅及び仏教切り絵の展示。
九州日中水墨画研究会第20回記念日中友好書画展	7月19日～ 7月24日	6	361	水墨画(墨彩)による山水、花鳥、人物、書等。
福岡市中学校総合文化発表会 美術部作品展	7月26日～ 7月31日	6	1,280	福岡市内の公立中学校美術部による「世界に向けて」をテーマにした共同制作作品の企画展示。
日本風景写真協会福岡第一支部 第17回写真展	8月 2日～ 8月 7日	6	933	日本風景写真協会福岡第一支部の写真展。
空間芸術プロジェクト「#white」展	8月 9日～ 8月14日	6	805	白を基調とした表現の作品を募集し展示。
合同展J vol.5 I'll Be There	8月16日～ 8月21日	6	780	マイケル・ジャクソンをテーマとしたファンアート展。
蔚山大学校デザイン建築融合大学視覚デザイン専攻 卒業作品海外展示	8月23日～ 8月28日	6	321	韓国・蔚山(ウルサン)広域市にある「蔚山大学校」の卒業作品。
第4回 九州けやき会展	8月30日～ 9月 4日	6	566	金沢美術工芸大学卒業で、九州在住者による作品展。絵画等の平面作品54点、木工・陶芸等の工芸を中心とした立体作品19点の展示。
福岡インディペンデント映画祭2018	9月 6日～ 9月11日	6	1,544	『SCENE 映画のような写真展』6人の写真家による映画をテーマにした写真展。
嶺井壽美子と仲間たち展ーキルト作品ー	9月13日～ 9月18日	6	871	一辺が1cm～1.8cmの六角形のモザイクキルト17点と、糸で絵を描くスレッドペインティングキルト8点他を展示。
智書展(ざとりしよてん)	9月20日～ 9月25日	6	863	智書家元と師範さん 福岡県内の生徒さん達による作品展。
書のときめき展'18 一墨会&井上一光	9月27日～10月 2日	6	810	甲骨文・金文を主なモチーフとした近代書の創作作品。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
Pojagi * Sesttam 韓国伝統手芸チョガッポ作品展	10月 4日～10月 9日	6	595	韓国の伝統手芸ポジャギの作品展。
第48回福岡市高齢者美術展	10月11日～10月16日	6	921	「洋画」「日本画」「書」「写真」「工芸」の5部門で、市内居住の60歳以上の方々に応募された作品を展示。
掘り出された古の博多展～重要文化財になって博多のまちに里帰り～	10月20日～11月11日	20	1,349	平成29年9月に国の重要文化財に指定された博多遺跡群出土品をはじめ、博多遺跡群の出土品を展示。
日韓工芸作品展	11月15日～11月20日	6	804	日本と韓国の伝統・現代工芸作家96名の独特の工芸作品を展示。
第41回福岡市退職小学校長会作品展	11月22日～11月27日	6	468	絵画・工芸・書・写真・ろうけつ染め・その他、会員の近況報告を兼ねたささやかな作品展。
第3回新世代アートフロンティア	11月29日～12月 4日	6	392	39歳以下の若手作家の作品展。
第38回南区美術展	12月 6日～12月11日	6	797	南区に在住・通勤・通学する16歳以上の方及び高校生から募集した作品(入選以上)と、南区美術協会会員の作品を展示。
第34回城南区市民アート展	12月13日～12月18日	6	736	絵画・グラフィックデザイン・書・写真・工芸の5部門において、城南区に居住または通勤・通学する方の作品約240点を展示。
第18回ロータリー・ジュニア美術展	12月20日～12月25日	6	391	福岡地区近郊の公立中学校、私立中学校に在籍する中学生の美術作品を応募し、最優秀賞、優秀賞、佳作、入選の作品を150点選び展示。
第24回福岡県幼児画展	1月 3日～ 1月 8日	6	2,668	福岡県内の幼稚園、保育園、保育所に在園する年少から年長児の応募作品5,140点から選出された入賞作品450点を展示。
第70代横綱・日馬富士引退記念写真展	1月10日～ 1月15日	6	585	日馬富士・入門から引退までの思い出の写真などを展示。
第48回世界児童画展 福岡・佐賀県展	1月18日～ 1月22日	5	1,292	日本国内(46,262点)と海外45の国と地域から応募された児童画合計108,212点の中から入選以上の作品468点(福岡354点、佐賀79点、海外31点、他県特別賞4点)を展示。
「私の舞台」書	1月24日～ 1月29日	6	695	「私の舞台」というこのステージで、自分の想いを、白と黒のバランス、線の美しさ等で表現。
平成30年度 博多区文化・芸術展	1月31日～ 2月 5日	6	543	博多区に在住、または通勤・通学している方、区内のサークルに所属し活動している方(いずれも中学生以下を除く)が応募した「絵画」「写真」「書」「グラフィックデザイン」の作品を展示。
KenDe Works 2018 卒展	2月 7日～ 2月12日	6	418	近畿大学 産業理工学部 建築・デザイン学科の卒業設計・制作の展示。
第4回向かい合う教師と生徒展	2月14日～ 2月19日	6	461	福岡県下の高等学校美術・工芸教科の中で行われている授業の実践内容と、その生徒の作品を中心に指導教員自らの作品を併せて発表・展示。
第59回福岡大学美術部展	2月21日～ 2月26日	6	399	油彩、水彩、CG、オブジェ、陶器の5つの部門から合計100点以上を展示。
専門学校九州ビジュアルアーツ写真学科 Photo Exhibition2019	2月28日～ 3月 5日	6	406	現在2年生の写真展。約500点を展示。
中村順子個展	3月 7日～ 3月12日	6	306	パリ時代の作品から最新作、120号連作6点など35点を展示。
さくら障がい者チャリティーアート展	3月14日～ 3月19日	6	1,044	絵画・陶芸作品など約100展を展示。
鶴崎政志写真展「Silhouette City シルエット・シティ」	3月21日～ 3月26日	6	378	カタチの輪郭だけ(シルエット)にして、シンプルな「カタチ」から見えてくるものがあるのではないか? をテーマにした写真展。
脱蟬社 書展 2018	3月28日～ 4月 2日	4	250	実験的に書表現の可能性を模索しつつつけている書作家による展示。
合 計		296	35,196	

活動記録

2018年

- 4月 1日 7階にアートカフェ、1階エントランスに壁画が誕生
- 5月14日 受入支援作家チョック・ユエ・ザン氏来館
(6月24日まで)
- 5月17日 招聘作家モー・ジアチン氏来館
(7月9日まで)
- 5月12日 福岡ミュージアムウィーク2018開催
(5月20日まで)
- 6月18日 受入支援研究者 キム・ジョンヒョン氏来館
(7月20日まで)
- 7月19日 おいでよ！絵本ミュージアム2018 開催
(8月19日まで)
- 9月11日 招聘作家ヴー・キム・トゥー氏来館
(11月28日まで)
- 10月31日 博多旧市街まるごとミュージアム開催
(11月4日まで)
- 11月23日 闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s 開催
(1月20日まで)
- 12月 3日 受入支援学芸員 クラリッサ・チキアムコ氏来館
(12月14日まで)
- 12月 3日 受入支援学芸員 シルケ・シュミクル氏来館
(12月14日まで)

2019年

- 1月15日 受入支援研究者 棕橋彩香氏来館
(3月22日まで)
- 2月15日 開館以来の来館者500万人達成
- 2月18日 招聘作家キャンディ・バード氏来館
(3月29日まで)
- 3月 1日 受入支援作家リム・ソクチャンリナ氏来館
(3月31日まで)
- 3月 6日 福岡アジア美術館 開館20周年、3月9～10日に記念ト
ークイベント開催

黒田雷児

【展覧会企画】

2018.11.23-2019. 1.20

特別企画展「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」

【執筆】

2018. 6

「獅子身中之蟲 福岡アジア美術館所扮演的の另一個角色」、『影像軌跡・策展美学 春之当代藝論2015-2016』、春之文化基金会、台北 Kuroda Raiji, "A Bug in a Lion: The Other Role of the Fukuoka Asian Art Museum," *Image Trajectory/ Curatorial Aesthetics: Spring Dialogue 2015-2016*, The Spring Foundation, Taipei, June

2018. 9

「木刻作為社群媒介—跨族越區的無名者聯盟」、蔣伯欣(客座主編)・雷逸婷(編輯)、『檔案轉向: 東亞當代藝術與台灣(1960-1989)國際學術研討會論文集』、台北市立美術館・春之文化基金 Kuroda Raiji, "Woodcut as Social Media: Inter-Communal Alliance of the Nameless," Chiang Po-hsin (Guest Editor-in-chief) and Lei Yiting (Editor), *Collected Papers from the International Symposium, Archival Turn: East Asian Contemporary Art and Taiwan (1960-1989)*, Taipei Fine Arts Museum and Spring Foundation, Taipei

【講演等】

2018.11.23

「アジア美術史を裏返す—木版画にみる抵抗と解放」、福岡アジア美術館

2018.12. 6

「アジア近代化における印刷美術としての木版画」、京都市立芸術大学

2019. 2. 2

「アジア近代美術の伏流 抵抗と解放の木版画運動」、アーツ前橋

2019. 3.16

「アジア内版画交流の痕跡をたどる—中国・インド・インドネシア、そして日本」、第26回版画史研究会、東京古書会館

中尾智路

【展覧会企画】

2018.10. 4- 1.15

コレクション展「手で考える」

2018.10.31-11. 4

「博多旧市街まるごとミュージアム」(ストーリー・ボックス、鈴木康広、牛嶋均)

2019. 1. 2- 9.24

コレクション展「アジア・ネクスト—はじまりの物語」

【執筆】

2018

"Playful Attack - Yaloo in Fukuoka" *YALOO CASTLE SITE 2018*, pp. 19-20.

【講演等】

2019. 3.23

トーク、「アート&デザイン 新世代賞」巡回展、WeBase博多(福岡)

【その他】

2018. 8

佐賀大学大学院地域デザイン研究科 非常勤講師

2018.12

アジアデジタルアート大賞展審査員

五十嵐理奈

【展覧会企画】

2018. 4.19- 7.10

コレクション展「海を渡った宝石箱—ガラス・象牙・漆」

2018. 9.20-12.25

「横尾忠則とアジア'89」

【執筆】

2018. 6

「Bangladesh Contemporary Art and 『ダッカ・アート・サミット2018』c—現地発の企画が見たかった」『あいだ』240号、『あいだ』の会編、2018年6月20日、2-9頁。

【講演等】

2018. 4.28

"Doing Exhibition Here and Now from "SUNSHOWER: Contemporary Art from Southeast Asia 1980s to Now", "Dialogue-An Imaginary as Social Practice -Asian Thisness 2018", organized by The Galaxy Museum of Contemporary Art, Chongqing, China

2018. 5.28

「布をコレクションするということ—美術館でモノはどのように硬くなるのか」『南アジア地域研究 国立民族学博物館拠点(布班)』(国立民族学博物館、大阪)

【その他】

2018. 5

釜山現代美術館運営諮問委員

山木裕子

【講演等】

2018. 7.31 CASASAGAセミナー～夜の芸術大学 #5 「異国での製作:福岡アジア美術館のアーティスト・イン・レジデンス事業について」

趙純恵

【展覧会企画】

2018.11.23-2019. 1.20 特別企画展『闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s』(副担当)

2019. 1.17-2019. 3.26 コレクション展『時代のモンタージュアアジア映像の展開』

2019. 3.28-2019. 6.25 コレクション展『あじび研究所 イ・ユニョプ〈テチュリ婦人会長さん〉』

【執筆】

2018. 4 『韓国 listen to the city』 美術手帖4・5月合併号

2018.10 『福岡市美術館の作品に見る、「アジア」・「日本」・「欧米」』 福岡市美術館 季刊誌エスプラナード193号

2018.11 『彫って刷るソーシャルメディア』からの展開—韓国の路上から湧き出る民衆の声』 『闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s』展図録

2018.12 『闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s』展について、デアルテ35号(ミュージアムミュージアム)

【講演等】

2018.12.15 学芸員によるギャラリートーク「韓国の作品について」、『闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s』展関連イベント(福岡アジア美術館)

【その他】

2019. 3.14- 3.30 『VOCA展2019 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』展 推薦委員

蒲池昌江

【講演等】

2018. 4.18 中学校美術一斉教科基本研修講座「アジ美術の魅力発見! ~アジア美術館のコレクションをめぐって~」 福岡市教育センター ふくふくプラザ

2018. 8.21 朝倉市中学校教育研究会美術部会研修 朝倉市中学校教育研究会美術部会 福岡アジア美術館

【その他】

2018. 9.~2019. 1 中村学園大学・中村学園大学短期大学部 教育学部非常勤講師

岩本史緒

【(外部)企画】

2018.11.25 踊って!!京町(北九州市小倉北区京町銀天街におけるコミュニティ・ダンス・プロジェクト)

2019. 2. 3-9 門司港・玄関口プロジェクト(北九州市門司区におけるアート・プロジェクト)

2019. 2.23-24 『装う、遊ぶ』(八女郡広川町と北九州市門司区をつなぐアーティスト・イン・レジデンス事業の成果展)

【執筆】

2018.10 『「ああ! 愛しのメキシコスープ! II 竹田邦夫+山福朱実+南控控」展~「死者の祭り」にちなんで行われた三人展への長すぎるエッセー』、オペレーションテーブルHP(<http://operation-table.com>)、2018年10月

【その他】

2018. 4~8 北九州市立大学文学部 非常勤講師

2018. 4~ 門司港アートプラットフォーム ディレクター

2019. 3.23 『Hirokawa Creators Hub Special: YES WAKAME!』トークイベント参加・通訳

名簿

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
小 勝 禮 子	近現代美術史研究者・美術批評家

福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む。)

会 長	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	植 野 か お り	立花家史料館館長
委 員	的 場 典 子	松島小学校校長
//	田 畑 弘 行	北崎中学校校長
//	谷 本 昇	福翔高等学校校長
//	大 森 節 子	(公社)福岡市老人クラブ連合会理事
//	木 内 潤 子	福岡市社会教育委員
//	張 浩 子	福岡市PTA協議会副会長
//	李 善 姫	韓国語講師
//	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
//	宇 田 川 宣 人	アジア美術家連盟日本委員会日本代表
//	浦 上 雅 司	福岡大学人文学部教授
//	西 高 辻 信 宏	太宰府天満宮権宮司
//	原 田 真 紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
//	藤 枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
//	松 尾 さ ち	社会福祉法人 JOY 明日への息吹 JOY倶楽部アトリエブラヴォ職業指導員
//	室 岡 祐 司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

福岡アジア美術館職員

館 長	霧 田 徹 (平成30年6月まで)
	石 田 佳 久 (平成30年7月から)
運 営 部 長	黒 田 雷 児
運 営 課 長	池 田 忠 浩
運 営 係 長	淵 上 浩 之
事 務 職 員	占 部 優 子
事 務 職 員	立 石 ア キ 子
事 務 職 員	餅 井 貴 彦
嘱 託 員	友 納 恵 二
嘱 託 員	野 口 咲 季
嘱 託 員	大 北 伊 都 子
学 芸 課 長	ラワンチャイクン 寿子
収 集 展 示 係 長	中 尾 智 路
学 芸 員	五 十 嵐 理 奈
学 芸 員	趙 純 恵
交 流 係 長	—
学 芸 員	金 子 裕 子 (山 木 裕 子)
嘱 託 員	蒲 池 昌 江
嘱 託 員	岩 本 史 緒
嘱 託 員	久 保 沙 織 (柏 尾 沙 織)
嘱 託 員	松 浦 仁
嘱 託 員	津 森 洋 子
嘱 託 員	柿 元 直 人 (平成30年6月から)
嘱 託 員	益 田 ひ かる (平成31年2月から)

発行 2019年9月
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>
デザイン 城島印刷株式会社
印刷 福岡アジア美術館
著作権 2019年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

